

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 岐阜県民文化祭開催費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化創造課 文化振興係 電話番号：058-272-1111(内3121)

E-mail：c11146@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 14,217 千円 (前年度予算額： 14,217 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	14,217	5,000	0	0	0	0	0	0	9,217
要求額	14,217	5,000	0	0	0	0	0	0	9,217
決定額	14,217	5,000	0	0	0	0	0	0	9,217

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県民の芸術・文化活動への参加及び相互交流を促進し、岐阜県らしさを活かした地域文化の振興と創造を図るため、(公財)岐阜県教育文化財団が行う岐阜県民文化祭事業に対して支援する。

(2) 事業内容

①「清流の国ぎふ創作オペラ」開催事業

令和6年開催予定の国民文化祭に向け、県内各地で自主的に設立された音楽劇団体の活動活性化及び担い手育成のため、団体の自主公演及び公演のための新作制作を支援する。

②岐阜県文芸祭開催事業

本県の文芸創作活動の充実を図るため、広く県内外から10部門の作品を募集し、優れた作品を表彰するとともに作品集に掲載する。

(3) 県負担・補助率の考え方

本県の文化振興を図る上で重要な事業であり、県の負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,000	清流の国ぎふ創作オペラ開催事業
補助金	4,217	岐阜県文芸祭開催事業
合計	14,217	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「清流の国ぎふ」創成総合戦略による位置づけ
 - 3 地域にあふれる魅力と活力づくり
 - (1) 地域の魅力の創造・伝承・発信
 - ①「清流の国ぎふ」文化・芸術の創造・伝承

(2) 事業主体及びその妥当性

本補助金を受けて(公財)岐阜県教育文化財団が事業を実施する。

(公財)岐阜県教育文化財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県民文化祭開催費補助金
補助事業者（団体）	（公財）岐阜県教育文化財団 （理由）当該財団は、人材の養成と県民文化・地域文化の創造・発展ならびに芸術文化・伝統文化・生活文化等の保存・継承を目的として活動している財団であり、事業主体として妥当である。
補助事業の概要	（目的）文化活動への参加及び創造を促進する （内容）「清流の国ぎふ創作オペラ」の公演、 「岐阜県文芸祭」の開催
補助率・補助単価等	その他（補助対象経費全額） （内容）事業実施に係る経費全額 （理由）本県の文化振興を図るうえで重要な事業であるため。
補助効果	事業によって県文化の発展・継続が見込める
終期の設定	終期 令和5年度 （理由）「『清流の国ぎふ』創成総合戦略」の終期であるため。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

文化芸術活動に参加する県民の増加、新たな文化の創造及び地域の伝統文化等の継承を図ることにより、自律的な文化活動を確立させる。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	R3年度	R3年度	R4年度	R5年度	終期目標	達成率
	目標	実績	目標	目標	(R5)	
①「清流の国ぎふ創作オペラ」の入場者数	定員の70%	入場者334人 (定員の93%)	定員の80%	定員の90%	定員の90%	
②「清流の国ぎふ創作オペラ」の観覧者アンケートによる満足度	70%	96%	80%	90%	90%	

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度
	21,267	19,398	10,306

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	令和2年2月6日(土)、7日(日) ひだ・みの創作オペラ「紙すきのうた」観客数366名 第29回岐阜県文芸祭 応募点数10,462点 指標① 目標: _____ 実績: _____ 達成率: _____ %
令和3年度	清流の国ぎふ創作オペラ 公演開催 1公演 令和4年1月22日、23日「花子」 入場者数334人 作品制作 2作品 「徳山ブルース」作曲、台本制作 異聞「童子夜行」(仮題)の台本制作 第30回岐阜県文芸祭 ・応募点数13,509点 指標①オペラ入場者数 目標: 252人 実績: 334人 達成率: 132% 指標②オペラ満足度 目標: 70% 実績: 96% 達成率: 137%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標: _____ 実績: _____ 達成率: _____ %

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>創作オペラは、各地域の伝承を元にした公演を継続することにより、その土地固有の文化的自覚が醸成され、自律的な活動につながっている。岐阜県文芸祭は、毎回多数の応募があり、県民等の創作活動の発表の場として活用されている。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2:期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1:期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0:ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)</p>	
(評価) 2	<p>創作オペラは他地域での公演にも多くの観客が訪れ、評価も高い。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 1	<p>岐阜県文芸祭においては、平成29年度に飛騨美濃じまん部門を廃止するなど適宜効率化を図っている。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作オペラ 団体主導の公演への移行 ・文芸祭 若年層の応募が少ない
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>創作オペラについては、令和6年度の国民文化祭での公演に向けた団体の自律的な活動を促進すべく、継続して助成を行う。</p> <p>岐阜県文芸祭については、幅広い年齢層からの応募を増やす取り組みを検討しつつ継続して助成を行う。</p>
--